




高島市のスポーツ、文化の報奨制度 制定について



渡邊 近治議員

問 少子高齢化の時代、今こそ次世代を担う子ども達、青少年を大きく育てる組織が必要だと思う。県春季大会で安曇川高校野球部が優勝し、近畿大会では準優勝に輝き、素晴らしい成績を残してくれた。この時、市役所と学校に垂れ幕を掲げて市民の誇りと励みにしてはいかかかと提言したところ、横断幕と経費の一部を負担された。今までと違って合併を機にスポーツ・文化に功績のあった児童、生徒を含めた個



人、団体に、夢のある子ども達を育てるためにも、また努力した人たちが、報われるためにも、高島市の報奨制度を制定してはいかかが質問する。

答 教委総務課長

地元安曇川高校野球部の活躍に対し、「横断幕」と「激励金」をもって対応しました。今後こうした事例については、内容を慎重に審査し物や金額の多少の問題ではなく、子ども達の励みとなるよう、また市民の心が伝わるよう、スポーツ・文化・芸術などの各分野で市全体としての「報奨制度」の制定について検討してまいります。

問 高島市の諸税、保険料等の収納状況と旧町村よりの繰越滞納の詳細（種別・金額）及び今後の収納促進策を問う。収納対策室の設置等本格的な収納体制整備が必要ではないか。

答 総務部長

滞納額は、税で6億8,500万円、その他の使用料・分担金等が1億7,000万円です。今年度当初に市税等滞納整理実施計画を定め、滞納整理を強化しています。

高島市地域医療整備検討委員会の役割について



大塚 泰雄議員

答 助役
収納対策チームを発足させ、収納実績を上げるよう努めます。

問 高島市地域医療整備検討委員会の設置目的と役割、権限等位置づけ及び委員構成の考え方について聞く。
地域住民代表の人数6人は少ないし、しかも1人は歯科医師である。又、公募もせず、勝手に選任しているが何故もっと幅広く住民の意見を聞く人数、構成にしなかったのか。

答 健康福祉部長

委員会は、二次保険医療圏（高島市）の地域医療の供給体制の確保と機能の充実にまた病床数、災害・事故時の医療、救急の受け入れ、位置等について協議しています。今後、公募委員6人を募集し、またできる限り広く住民の意見を聞いてまいります。

問 4月に教育長が交代されたことでもあり、人権教育指導体制整備の検討状況並びに人権教育指導課設置の考えはないのかを3月定例会に続いて再び問う。

答 教育長

市教育委員会では、生涯学習課と学校教育課で人権啓発・人権教育を進めています。組織が動きかけたところであり、検討期間を頂きたいと考えます。

